

# 大阪市の推計人口年報（令和6年）

～令和6年10月1日現在の推計人口と1年間の人口異動の動向～

令和6年11月

大阪市計画調整局

# 目 次

1	人 口 総 数	1
2	男 女 別 人 口	2
3	世 帯 数	3
4	行 政 区 別 人 口	4
5	行 政 区 別 世 帯 数	7
6	人 口 異 動	9
7	年 齢 別 人 口	16

## 《利用上の注意》

### ・推計方法について

推計人口（毎月1日現在）は、平成24年7月までは「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の増減を国勢調査結果の人口に加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の増減を加減して算出している。本資料は令和2年国勢調査結果による推計人口である。

### ・人口異動について

推計人口においては出生と死亡の差を自然動態（自然増減）とし、転入と転出の差にその他の増減を加減したものを社会動態（社会増減）とした。その他の増減とは、実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数である。転入、転出は市内の行政区相互間を含んでいる。

人口異動の自然増減率、出生率、死亡率、社会増減率、転入率、転出率は、前年10月1日現在の人口1000人に対する割合（千分比）である。※ 単位：‰（パーミル）

### ・年齢別人口について

年齢別人口は、平成24年7月までは国勢調査結果の年齢、男女別人口を基準に、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出し、平成24年8月以降は外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出した。

## 1 人口総数

令和6年10月1日の大阪市の人口は279万1907人で、前年10月1日と比べると、2万1387人(0.77%)の増加となった。

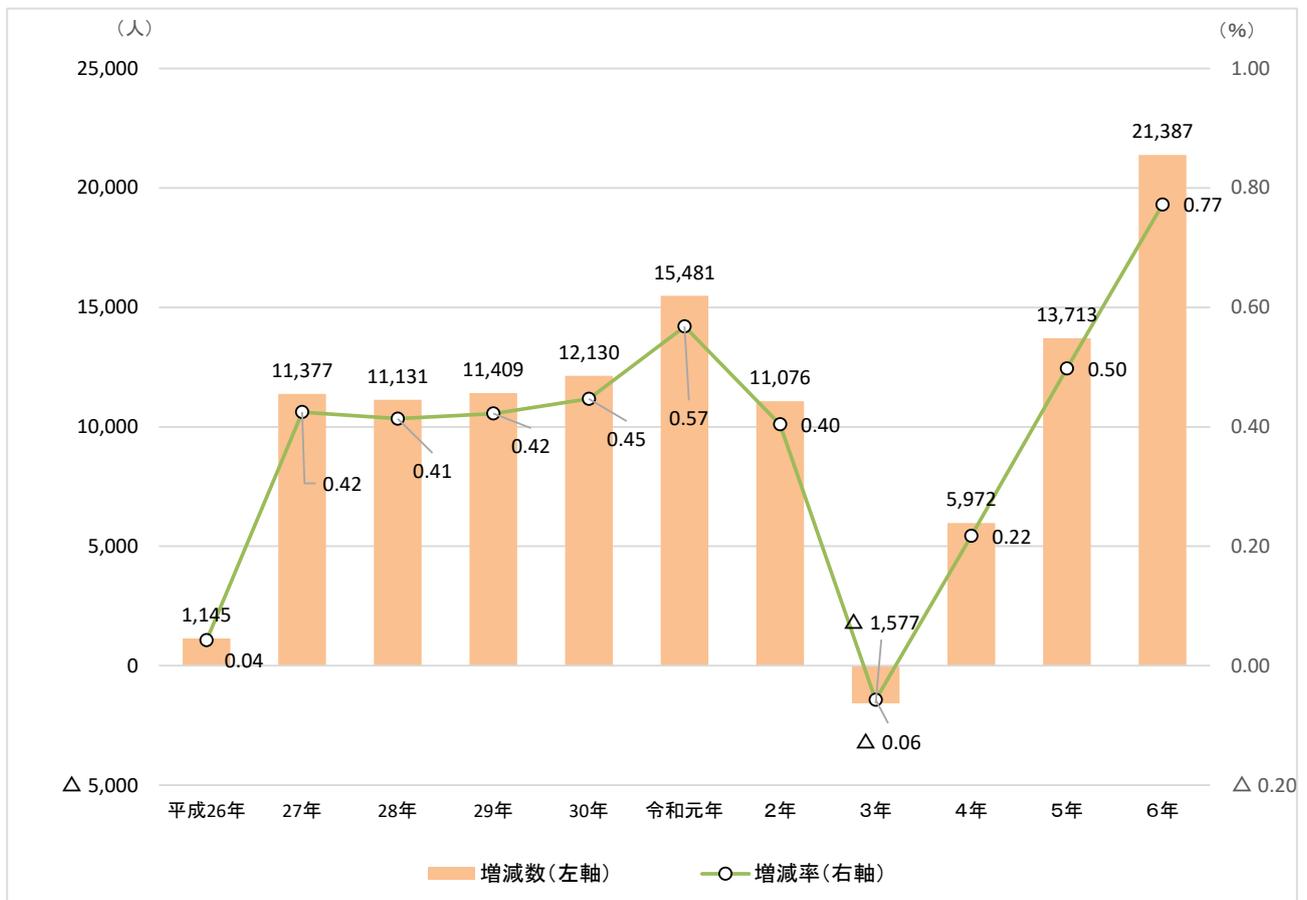
表1 人口の推移

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
平成26年	2,679,808	1,145	0.04
<b>27年</b>	<b>2,691,185</b>	<b>11,377</b>	<b>0.42</b>
28年	2,702,316	11,131	0.41
29年	2,713,725	11,409	0.42
30年	2,725,855	12,130	0.45
令和元年	2,741,336	15,481	0.57
<b>2年</b>	<b>2,752,412</b>	<b>11,076</b>	<b>0.40</b>
3年	2,750,835	△ 1,577	△ 0.06
4年	2,756,807	5,972	0.22
5年	2,770,520	13,713	0.50
6年	2,791,907	21,387	0.77

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

図1 人口増減数及び増減率の推移



## 2 男女別人口

令和6年の人口を男女別にみると、男性が134万2767人、女性が144万9140人となっている。男女別の人口を令和5年と比べると、男性が9769人(0.73%)増、女性が11618人(0.81%)増であった。人口性比(女性100人に対する男性の数)は92.66となっている。

表2 男女別人口の推移

年次	男(人)			女(人)			性比
	増減数(人)	対前年増減率	増減数(人)	対前年増減率			
平成26年	1,297,452	△ 479	△ 0.04	1,382,356	1,624	0.12	93.86
<b>27年</b>	<b>1,302,562</b>	<b>5,110</b>	<b>0.39</b>	<b>1,388,623</b>	<b>6,267</b>	<b>0.45</b>	<b>93.80</b>
28年	1,307,086	4,524	0.35	1,395,230	6,607	0.48	93.68
29年	1,311,137	4,051	0.31	1,402,588	7,358	0.53	93.48
30年	1,315,517	4,380	0.33	1,410,338	7,750	0.55	93.28
令和元年	1,321,926	6,409	0.49	1,419,410	9,072	0.64	93.13
<b>2年</b>	<b>1,326,875</b>	<b>4,949</b>	<b>0.37</b>	<b>1,425,537</b>	<b>6,127</b>	<b>0.43</b>	<b>93.08</b>
3年	1,324,466	△ 2,409	△ 0.18	1,426,369	832	0.06	92.86
4年	1,326,742	2,276	0.17	1,430,065	3,696	0.26	92.77
5年	1,332,998	6,256	0.47	1,437,522	7,457	0.52	92.73
6年	1,342,767	9,769	0.73	1,449,140	11,618	0.81	92.66

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

図2 男女別人口増減数の推移

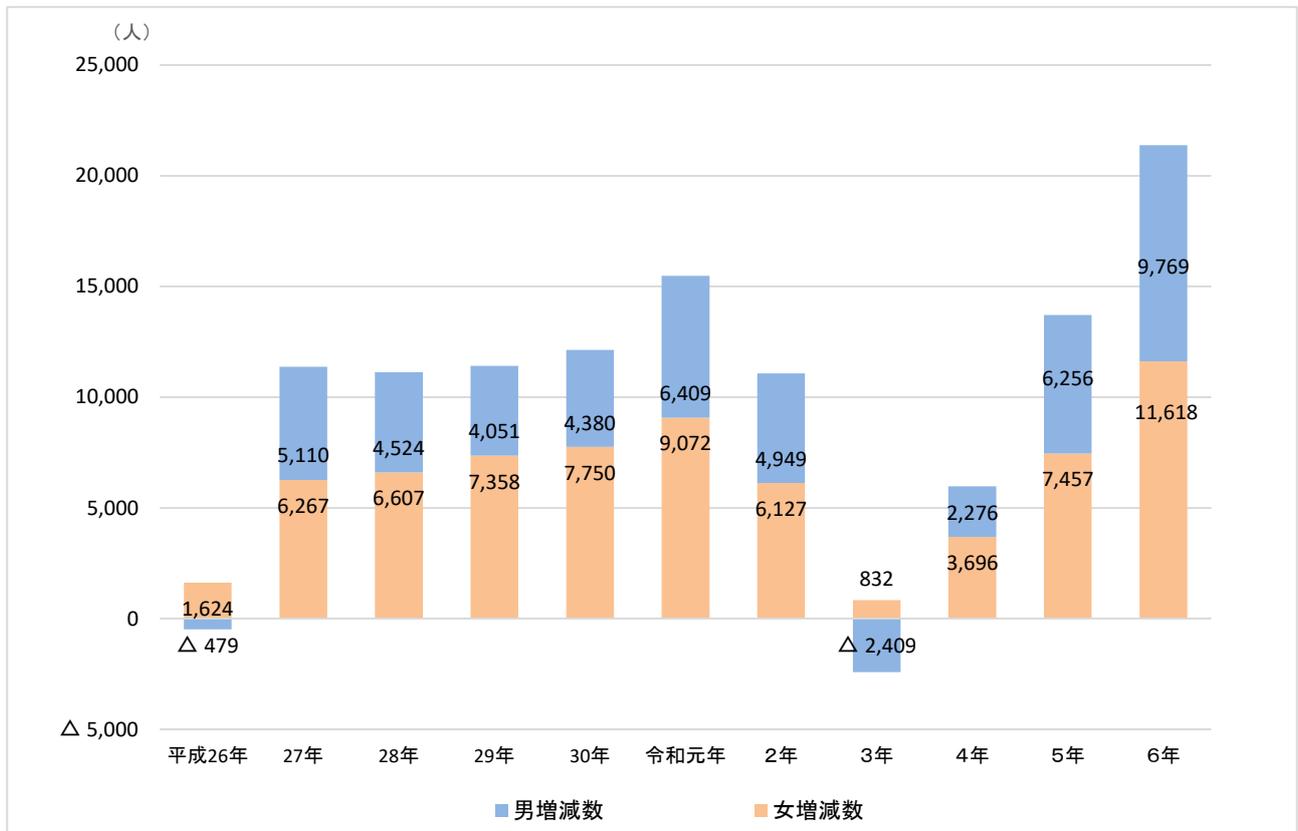
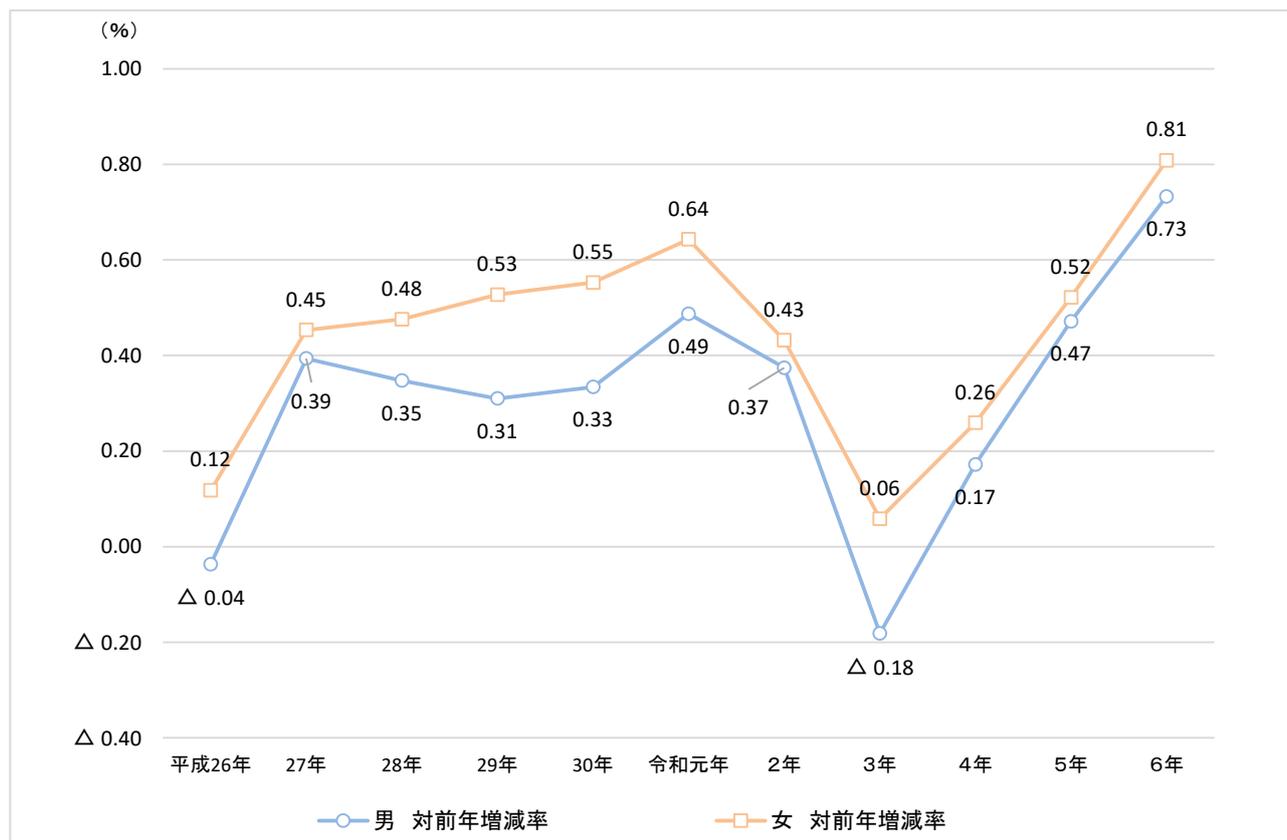


図3 男女別人口増減率の推移



### 3 世帯数

令和6年の世帯数は156万3504世帯であり、令和5年と比べると、3万2932世帯(2.2%)の増加となっている。

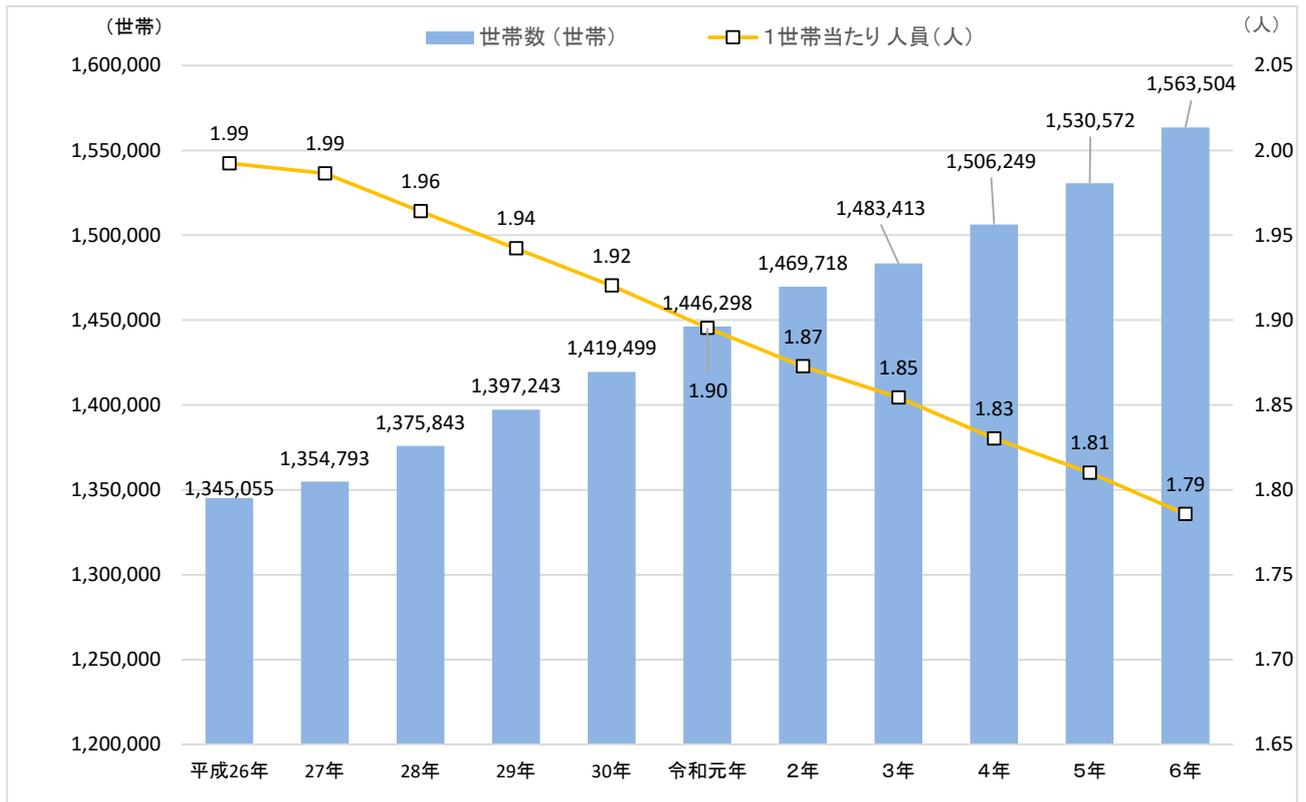
1世帯当たり人員は減少傾向にあり、令和5年の1.81人からさらに減少し、令和6年では1.79人となった。

表3 世帯数の推移

年次	世帯数			1世帯当たり 人員(人)
	(世帯)	増減数(世帯)	増減率(%)	
平成26年	1,345,055	6,145	0.5	1.99
<b>27年</b>	<b>1,354,793</b>	<b>9,738</b>	<b>0.7</b>	<b>1.99</b>
28年	1,375,843	21,050	1.6	1.96
29年	1,397,243	21,400	1.6	1.94
30年	1,419,499	22,256	1.6	1.92
令和元年	1,446,298	26,799	1.9	1.90
<b>2年</b>	<b>1,469,718</b>	<b>23,420</b>	<b>1.6</b>	<b>1.87</b>
3年	1,483,413	13,695	0.9	1.85
4年	1,506,249	22,836	1.5	1.83
5年	1,530,572	24,323	1.6	1.81
6年	1,563,504	32,932	2.2	1.79

太字は国勢調査結果による世帯数。その他は毎年10月1日現在の推計人口による世帯数。

図4 世帯数及び1世帯当たり人員推移



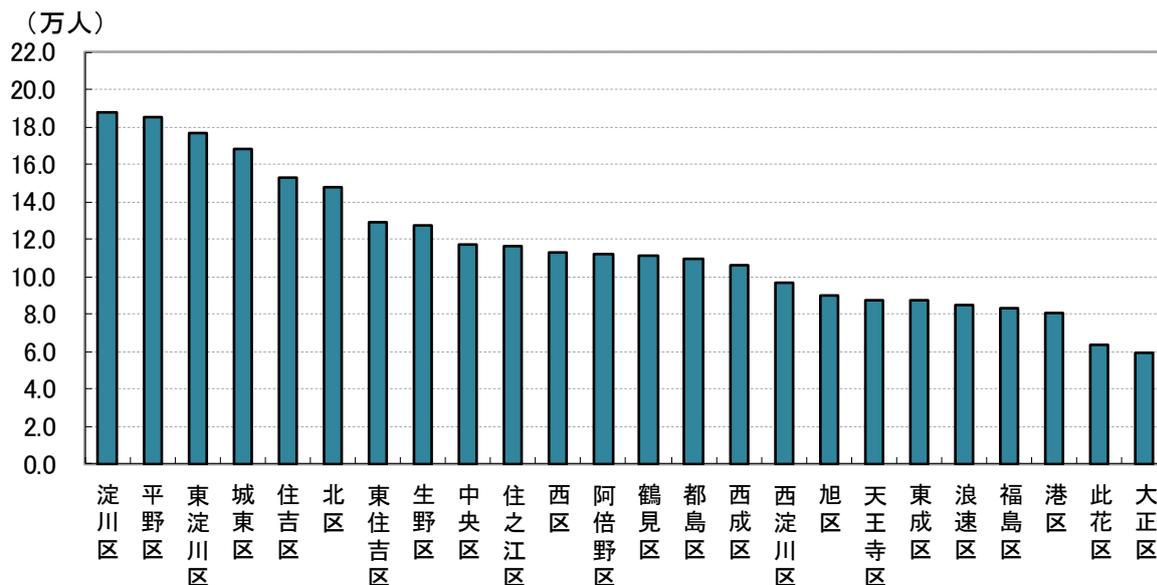
#### 4 行政区別人口

令和6年の人口を行政区別にみると、淀川区が18万7536人と最も多く、次いで平野区が18万5396人、東淀川区が17万6536人と続いている。

この1年間の人口増減数をみると、増加数は中央区が3211人と最も多く、次いで浪速区が2718人、西区が2480人と、引き続き市域中心部が増加している。減少数は平野区が1447人と最も多く、次いで住之江区が460人、此花区が437人と続いている。

人口増減率をみると、増加率は浪速区が3.3%と最も高く、次いで中央区が2.8%、天王寺区が2.3%と、人口増加数と同様に市域中心部で高くなっている。減少率は平野区が0.8%と最も高く、次いで此花区が0.7%、住之江区が0.4%と続いている。

図5 行政区別の人口



令和6年10月1日現在推計人口による。

表4-1 行政区別の人口

行政区名	人口 (人)		対前年 (令和5年)	
	令和6年	令和5年	増減数 (人)	増減率 (%)
大阪市	2,791,907	2,770,520	21,387	0.8
北区	147,556	145,226	2,330	1.6
都島区	109,249	108,441	808	0.7
福島区	83,255	81,975	1,280	1.6
此花区	63,613	64,050	△ 437	△ 0.7
中央区	117,165	113,954	3,211	2.8
西区	113,260	110,780	2,480	2.2
港区	80,319	79,656	663	0.8
大正区	59,603	59,465	138	0.2
天王寺区	87,268	85,291	1,977	2.3
浪速区	84,573	81,855	2,718	3.3
西淀川区	96,487	95,865	622	0.6
淀川区	187,536	185,709	1,827	1.0
東淀川区	176,536	176,134	402	0.2
東成区	87,220	85,871	1,349	1.6
生野区	127,282	126,789	493	0.4
旭区	89,992	89,200	792	0.9
城東区	167,970	167,409	561	0.3
鶴見区	111,266	111,533	△ 267	△ 0.2
阿倍野区	112,159	111,565	594	0.5
住之江区	116,699	117,159	△ 460	△ 0.4
住吉区	152,498	152,088	410	0.3
東住吉区	129,058	127,880	1,178	0.9
平野区	185,396	186,843	△ 1,447	△ 0.8
西成区	105,947	105,782	165	0.2

各年10月1日現在推計人口。

表4-2 人口増加数（上位7区）

順位	令和3年～4年		令和4年～5年		令和5年～6年	
	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）
1	中央区	3,267	中央区	3,683	中央区	3,211
2	浪速区	2,250	浪速区	2,742	浪速区	2,718
3	北区	2,032	北区	2,488	西区	2,480
4	西区	1,485	西区	2,378	北区	2,330
5	天王寺区	1,223	福島区	1,627	天王寺区	1,977
6	淀川区	964	淀川区	1,295	淀川区	1,827
7	西成区	558	天王寺区	981	東成区	1,349

表4-3 人口減少数（上位7区）

順位	令和3年～4年		令和4年～5年		令和5年～6年	
	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）	行政区名	増減数（人）
1	平野区	△ 1,958	平野区	△ 1,365	平野区	△ 1,447
2	住之江区	△ 1,137	大正区	△ 880	住之江区	△ 460
3	大正区	△ 1,011	城東区	△ 660	此花区	△ 437
4	城東区	△ 693	此花区	△ 637	鶴見区	△ 267
5	鶴見区	△ 607	住之江区	△ 436		
6	港区	△ 509	西成区	△ 222		
7	住吉区	△ 392	鶴見区	△ 79		

表4-4 人口増加率（上位7区）

順位	令和3年～4年		令和4年～5年		令和5年～6年	
	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）
1	中央区	3.1	浪速区	3.5	浪速区	3.3
2	浪速区	2.9	中央区	3.3	中央区	2.8
3	天王寺区	1.5	西区	2.2	天王寺区	2.3
4	北区	1.44	福島区	2.0	西区	2.2
5	西区	1.39	北区	1.7	北区	1.60
6	福島区	0.6	天王寺区	1.2	東成区	1.57
7	西成区	0.5	淀川区	0.7	福島区	1.56

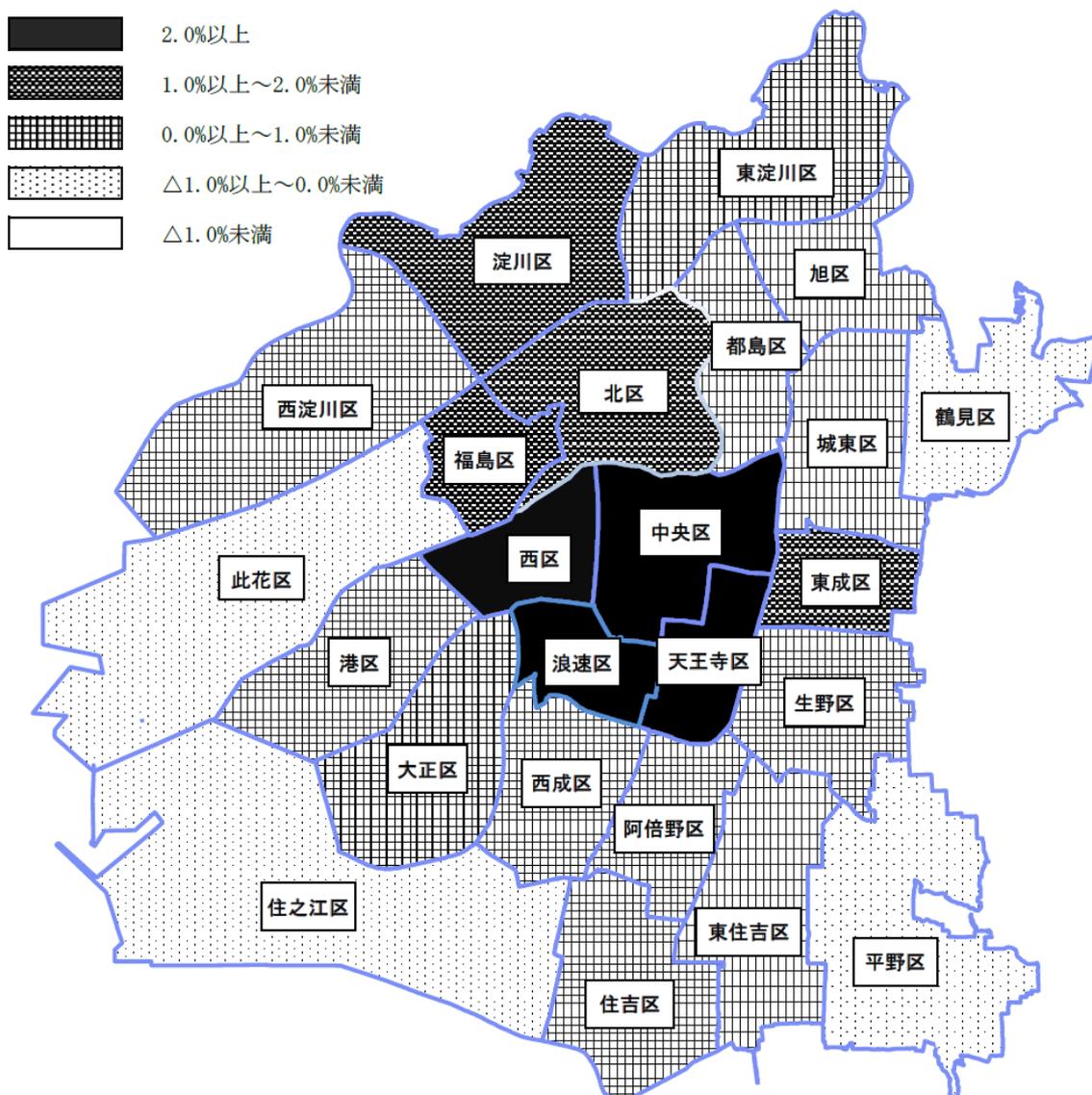
表4-5 人口減少率（上位7区）

順位	令和3年～4年		令和4年～5年		令和5年～6年	
	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）	行政区名	増減率（%）
1	大正区	△ 1.6	大正区	△ 1.5	平野区	△ 0.8
2	平野区	△ 1.03	此花区	△ 1.0	此花区	△ 0.7
3	住之江区	△ 0.96	平野区	△ 0.7	住之江区	△ 0.4
4	港区	△ 0.6	城東区	△ 0.39	鶴見区	△ 0.2
5	鶴見区	△ 0.5	住之江区	△ 0.37		
6	城東区	△ 0.41	西成区	△ 0.2		
7	旭区	△ 0.38	鶴見区	△ 0.1		

1 令和2年は国勢調査による人口。

2 令和3年以降は10月1日現在の推計人口。

図6 行政区別人口増減率の分布（令和5年～令和6年）



## 5 行政区別世帯数

令和6年の世帯数を行政区別にみると、淀川区が11万1275世帯と最も多く、次いで東淀川区が10万3392世帯、平野区が9万4697世帯と続いている。世帯数が最も少ない行政区は大正区の3万421世帯で、次いで此花区が3万2842世帯、港区が4万4821世帯と続いている。

この1年間の世帯数の増減数をみると、浪速区が2739世帯と最も多く、次いで淀川区が2598世帯、中央区が2532世帯と続いており、全24区で増加となっている。

世帯数の増減率をみると、浪速区が4.6%と最も高く、次いで西区が3.5%、東成区及び中央区が3.4%と、市域中心部で高くなっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.21人と最も多く、次いで阿倍野区が2.00人、城東区が1.97人と続いている。一方、1世帯当たり人員が最も少ない行政区は浪速区の1.35人であり、次いで中央区が1.51人、西成区が1.55人と続いている。

表5-1 行政区別世帯数

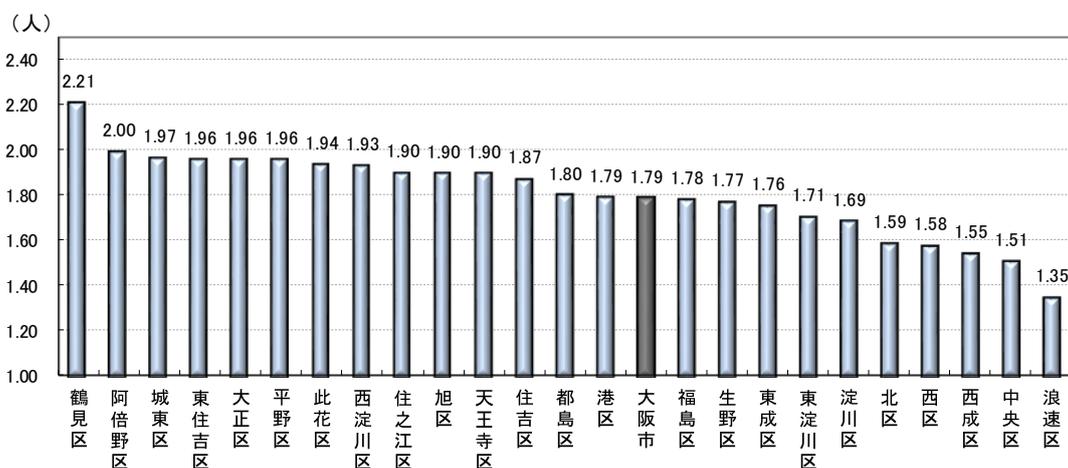
行政区	世帯数（世帯）		対前年（令和5年）		1世帯当たり 人員（人）
	令和6年	令和5年	増減数（世帯）	増減率（%）	令和6年
大阪市	1,563,504	1,530,572	32,932	2.2	1.79
北区	92,919	90,774	2,145	2.4	1.59
都島区	60,609	59,278	1,331	2.2	1.80
福島区	46,650	45,333	1,317	2.9	1.78
此花区	32,842	32,661	181	0.6	1.94
中央区	77,539	75,007	2,532	3.4	1.51
西区	71,720	69,264	2,456	3.5	1.58
港区	44,821	43,591	1,230	2.8	1.79
大正区	30,421	29,687	734	2.5	1.96
天王寺区	46,009	44,688	1,321	3.0	1.90
浪速区	62,618	59,879	2,739	4.6	1.35
西淀川区	49,966	48,677	1,289	2.6	1.93
淀川区	111,275	108,677	2,598	2.4	1.69
東淀川区	103,392	102,012	1,380	1.4	1.71
東成区	49,649	48,013	1,636	3.4	1.76
生野区	71,753	70,346	1,407	2.0	1.77
旭区	47,438	46,370	1,068	2.3	1.90
城東区	85,440	84,229	1,211	1.4	1.97
鶴見区	50,334	49,880	454	0.9	2.21
阿倍野区	56,197	55,252	945	1.7	2.00
住之江区	61,390	60,687	703	1.2	1.90
住吉区	81,402	80,285	1,117	1.4	1.87
東住吉区	65,861	64,285	1,576	2.5	1.96
平野区	94,697	93,989	708	0.8	1.96
西成区	68,562	67,708	854	1.3	1.55

各年10月1日現在推計人口。

表5-2 世帯数及び1世帯当たり世帯人員（上位・下位5区）

世帯数（世帯）				1世帯当たり世帯人員（人）			
上位5区		下位5区		上位5区		下位5区	
淀川区	111,275	大正区	30,421	鶴見区	2.21	浪速区	1.35
東淀川区	103,392	此花区	32,842	阿倍野区	2.00	中央区	1.51
平野区	94,697	港区	44,821	城東区	1.97	西成区	1.55
北区	92,919	天王寺区	46,009	東住吉区	1.96	西区	1.58
城東区	85,440	福島区	46,650	大正区	1.96	北区	1.59

図7 行政区別1世帯当たり世帯人員



令和6年10月1日現在推計人口による。

## 6 人口異動（前年 10 月中から当年 9 月中の合計）

### (1) 自然動態

令和 6 年の自然動態（出生と死亡の差）は 1 万 6329 人の減少となり、令和 5 年の自然動態（1 万 5792 人減）と比べると、減少幅は 537 人拡大した。また、自然増減率は 5.9%減となっている。

自然増減数を行政区別にみると、増加数は中央区が 284 人と最も多く、次いで西区が 170 人、北区が 42 人と、3 区で増加となっている。減少数は西成区が 2423 人と最も多く、次いで平野区が 1935 人、東住吉区が 1225 人と続いている。

自然増減率では、増加率は中央区が 2.5%と最も高く、次いで西区が 1.5%、北区が 0.3%と続いている。減少率は西成区が 22.9%と最も高く、次いで大正区が 11.8%、平野区が 10.4%と続いている。

#### ア 出生

令和 6 年の出生数は 1 万 8441 人で、令和 5 年（1 万 8828 人）と比べると 387 人の減少となり、出生率は 6.7%となっている。

出生数を行政区別にみると、淀川区が 1218 人と最も多く、次いで北区が 1184 人、東淀川区が 1171 人と続いている。出生数が最も少ない行政区は大正区の 311 人となっている。

出生率では、中央区が 8.8%と最も高く、次いで北区が 8.2%、福島区が 8.1%と続いている。最も低い行政区は西成区の 4.3%となっている。

#### イ 死亡

令和 6 年の死亡数は 3 万 4770 人で、令和 5 年（3 万 4620 人）と比べると 150 人の増加となり、死亡率は 12.5%となっている。

死亡数を行政区別にみると、平野区が 3029 人と最も多く、次いで西成区が 2883 人、東淀川区が 2204 人と続いている。死亡数が最も少ない行政区は西区の 669 人となっている。

死亡率では、西成区が 27.3%と最も高く、次いで大正区が 17.0%、東住吉区が 16.6%と続いている。最も低い行政区は西区の 6.0%となっている。

#### ウ 外国人の自然動態

令和 6 年の自然動態のうち、外国人は 72 人の減少となり、令和 5 年の自然動態（203 人減）と比べると、減少幅は 131 人縮小した。

外国人の出生数は 1049 人で、令和 5 年（888 人）と比べると 161 人の増加となっており、死亡数は 1121 人で、令和 5 年（1091 人）と比べると 30 人の増加となっている。

表6-1 自然動態の推移

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	対前年 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	対前年 (人)	死亡率 (%)
平成26年	△ 5,300	5	△ 2.0	22,810	△ 424	8.5	28,110	△ 429	10.5
27年	△ 5,742	△ 442	△ 2.1	22,972	162	8.6	28,714	604	10.7
28年	△ 5,530	212	△ 2.1	22,968	△ 4	8.5	28,498	△ 216	10.6
29年	△ 7,181	△ 1,651	△ 2.7	22,142	△ 826	8.2	29,323	825	10.9
30年	△ 8,280	△ 1,099	△ 3.1	21,905	△ 237	8.1	30,185	862	11.1
令和元年	△ 8,853	△ 573	△ 3.2	21,315	△ 590	7.8	30,168	△ 17	11.1
2年	△ 9,414	△ 561	△ 3.4	21,003	△ 312	7.7	30,417	249	11.1
3年	△ 12,186	△ 2,772	△ 4.4	20,363	△ 640	7.4	32,549	2,132	11.8
4年	△ 15,290	△ 3,104	△ 5.6	19,328	△ 1,035	7.0	34,618	2,069	12.6
5年	△ 15,792	△ 502	△ 5.7	18,828	△ 500	6.8	34,620	2	12.6
<b>6年</b>	<b>△ 16,329</b>	<b>△ 537</b>	<b>△ 5.9</b>	<b>18,441</b>	<b>△ 387</b>	<b>6.7</b>	<b>34,770</b>	<b>150</b>	<b>12.5</b>

- 1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。
- 3 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

図8 自然動態の推移

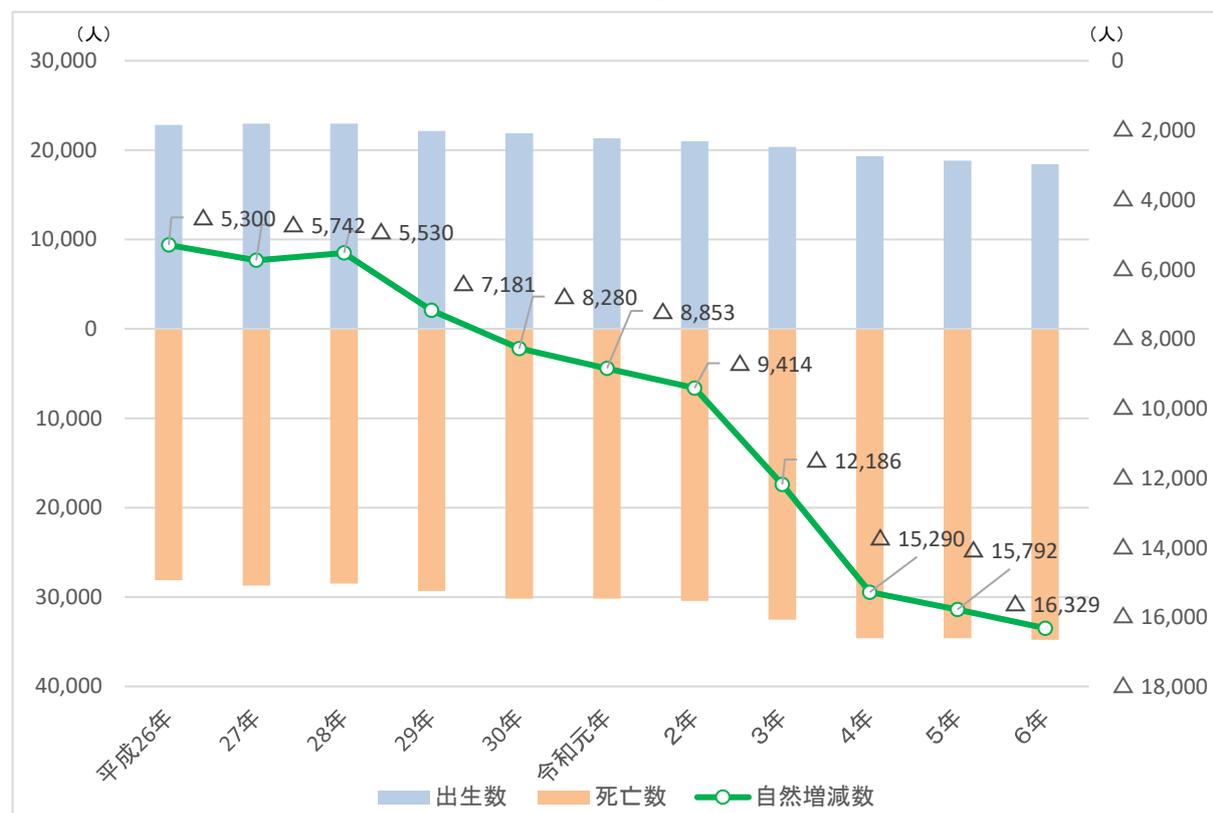


表6-2 令和6年 行政区別自然動態表

行政区名	自然増減数 (人)	自然増減率 (‰)	出生数 (人)	出生率 (‰)	死亡数 (人)	死亡率 (‰)
大阪市	△ 16,329	△ 5.9	18,441	6.7	34,770	12.5
北区	42	0.3	1,184	8.2	1,142	7.9
都島区	△ 503	△ 4.6	707	6.5	1,210	11.2
福島区	△ 2	△ 0.0	668	8.1	670	8.2
此花区	△ 471	△ 7.4	364	5.7	835	13.0
中央区	284	2.5	1,006	8.8	722	6.3
西区	170	1.5	839	7.6	669	6.0
港区	△ 605	△ 7.6	447	5.6	1,052	13.2
大正区	△ 701	△ 11.8	311	5.2	1,012	17.0
天王寺区	△ 49	△ 0.6	658	7.7	707	8.3
浪速区	△ 282	△ 3.4	495	6.0	777	9.5
西淀川区	△ 530	△ 5.5	648	6.8	1,178	12.3
淀川区	△ 674	△ 3.6	1,218	6.6	1,892	10.2
東淀川区	△ 1,033	△ 5.9	1,171	6.6	2,204	12.5
東成区	△ 487	△ 5.7	558	6.5	1,045	12.2
生野区	△ 1,215	△ 9.6	776	6.1	1,991	15.7
旭区	△ 755	△ 8.5	600	6.7	1,355	15.2
城東区	△ 864	△ 5.2	1,140	6.8	2,004	12.0
鶴見区	△ 339	△ 3.0	889	8.0	1,228	11.0
阿倍野区	△ 554	△ 5.0	719	6.4	1,273	11.4
住之江区	△ 1,130	△ 9.6	599	5.1	1,729	14.8
住吉区	△ 1,048	△ 6.9	996	6.5	2,044	13.4
東住吉区	△ 1,225	△ 9.6	894	7.0	2,119	16.6
平野区	△ 1,935	△ 10.4	1,094	5.9	3,029	16.2
西成区	△ 2,423	△ 22.9	460	4.3	2,883	27.3

1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-3 自然増減率、出生率及び死亡率（上位7区）

順位	自然増減率		出生率		死亡率	
	行政区名	(‰)	行政区名	(‰)	行政区名	(‰)
1	中央区	2.5	中央区	8.8	西成区	27.3
2	西区	1.5	北区	8.2	大正区	17.0
3	北区	0.3	福島区	8.1	東住吉区	16.6
4	福島区	△ 0.0	鶴見区	8.0	平野区	16.2
5	天王寺区	△ 0.6	天王寺区	7.7	生野区	15.7
6	鶴見区	△ 3.0	西区	7.6	旭区	15.2
7	浪速区	△ 3.4	東住吉区	7.0	住之江区	14.8

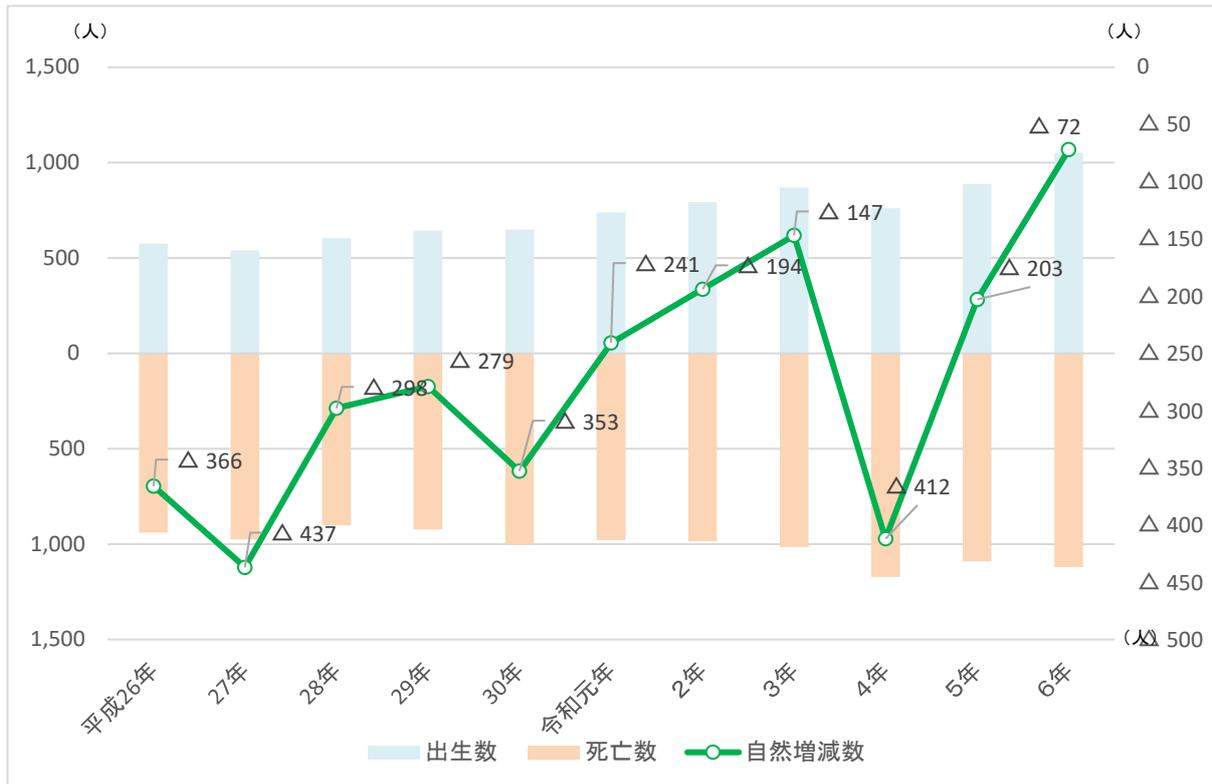
前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-4 自然動態の推移（外国人）

年次	自然増減		出生		死亡	
	増減数 (人)	対前年 (人)	出生数 (人)	対前年 (人)	死亡数 (人)	対前年 (人)
平成26年	△ 366	49	574	43	940	△ 6
27年	△ 437	△ 71	539	△ 35	976	36
28年	△ 298	139	604	65	902	△ 74
29年	△ 279	19	644	40	923	21
30年	△ 353	△ 74	649	5	1,002	79
令和元年	△ 241	112	738	89	979	△ 23
2年	△ 194	47	792	54	986	7
3年	△ 147	47	869	77	1,016	30
4年	△ 412	△ 265	760	△ 109	1,172	156
5年	△ 203	209	888	128	1,091	△ 81
<b>6年</b>	<b>△ 72</b>	<b>131</b>	<b>1,049</b>	<b>161</b>	<b>1,121</b>	<b>30</b>

前年10月中から当年9月中の合計である。

図9 自然動態の推移（外国人）



## (2) 社会動態

令和6年の社会動態（転入と転出の差）は3万7716人の増加となった。令和5年の社会動態（2万9505人増）と比べると、増加幅は8211人拡大した。また、社会増減率は13.6%となっている。

社会増減数を行政区別にみると、増加数は浪速区が3000人と最も多く、次いで中央区が2927人、西成区が2588人など全24区で増加となっている。

社会増減率では、増加率は浪速区が36.7%と最も高く、次いで中央区が25.7%、西成区が24.5%など、市域中心部で高くなっている。

## ア 転入

令和6年の転入数は23万7996人で、転入率は85.9%となっている。

転入数を行政区別にみると、淀川区が1万7602人と最も多く、次いで中央区が1万7256人、北区が1万5844人と続いている。転入数が最も少ない行政区は大正区の3677人となっている。

転入率では、浪速区が182.2%と最も高く、次いで中央区が151.4%、西区が125.1%と続いている。転入率が最も低い行政区は鶴見区の47.5%となっている。

## イ 転出

令和6年の転出数は19万8153人で、転出率は71.5%となっている。

転出数を行政区別にみると、淀川区が1万4952人と最も多く、次いで中央区が1万4086人、北区が1万3487人と続いている。転出数が最も少ない行政区は大正区の2796人となっている。

転出率では、浪速区が143.8%と最も高く、次いで中央区が123.6%、西区が103.9%と続いている。転出率が最も低い行政区は大正区の47.0%となっている。

## ウ その他増減

令和6年のその他増減数(実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数)は、2127人減となった。

## エ 外国人の社会動態

令和6年の社会動態のうち、外国人は1万9977人の増加となった。

外国人の転入及び入国数は6万3868人となっており、転出及び出国数は4万1203人で、令和5年と比べると、どちらも増加した。

表6-5 社会動態の推移

年次	社会増減			転入			転出			その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	社会 増減率 (%)	転入数 (人)	対前年 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	対前年 (人)	転出率 (%)	転出数 (人)	対前年 (人)
平成26年	8,059	△ 3,358	3.0	178,011	647	66.5	169,952	4,005	63.4	...	...
27年	18,726	10,667	7.0	185,808	7,797	69.3	167,082	△ 2,870	62.3	...	...
28年	16,378	△ 2,348	6.1	189,981	4,173	70.6	170,232	3,150	63.3	△ 3,371	...
29年	18,305	1,927	6.8	191,414	1,433	70.8	169,774	△ 458	62.8	△ 3,335	36
30年	20,129	1,824	7.4	199,003	7,589	73.3	175,657	5,883	64.7	△ 3,217	118
令和元年	24,049	3,920	8.8	211,083	12,080	77.4	184,095	8,438	67.5	△ 2,939	278
2年	20,207	△ 3,842	7.4	206,128	△ 4,955	75.2	183,567	△ 528	67.0	△ 2,354	585
3年	10,609	△ 9,598	3.9	199,117	△ 7,011	72.3	186,443	2,876	67.7	△ 2,065	289
4年	21,262	10,653	7.7	211,952	12,835	77.1	189,050	2,607	68.7	△ 1,640	425
5年	29,505	8,243	10.7	220,889	8,937	80.1	189,164	114	68.6	△ 2,220	△ 580
<b>6年</b>	<b>37,716</b>	<b>8,211</b>	<b>13.6</b>	<b>237,996</b>	<b>17,107</b>	<b>85.9</b>	<b>198,153</b>	<b>8,989</b>	<b>71.5</b>	<b>△ 2,127</b>	<b>93</b>

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は%（パーミル）である。

3 令和2年以前の国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

図 10 社会動態の推移

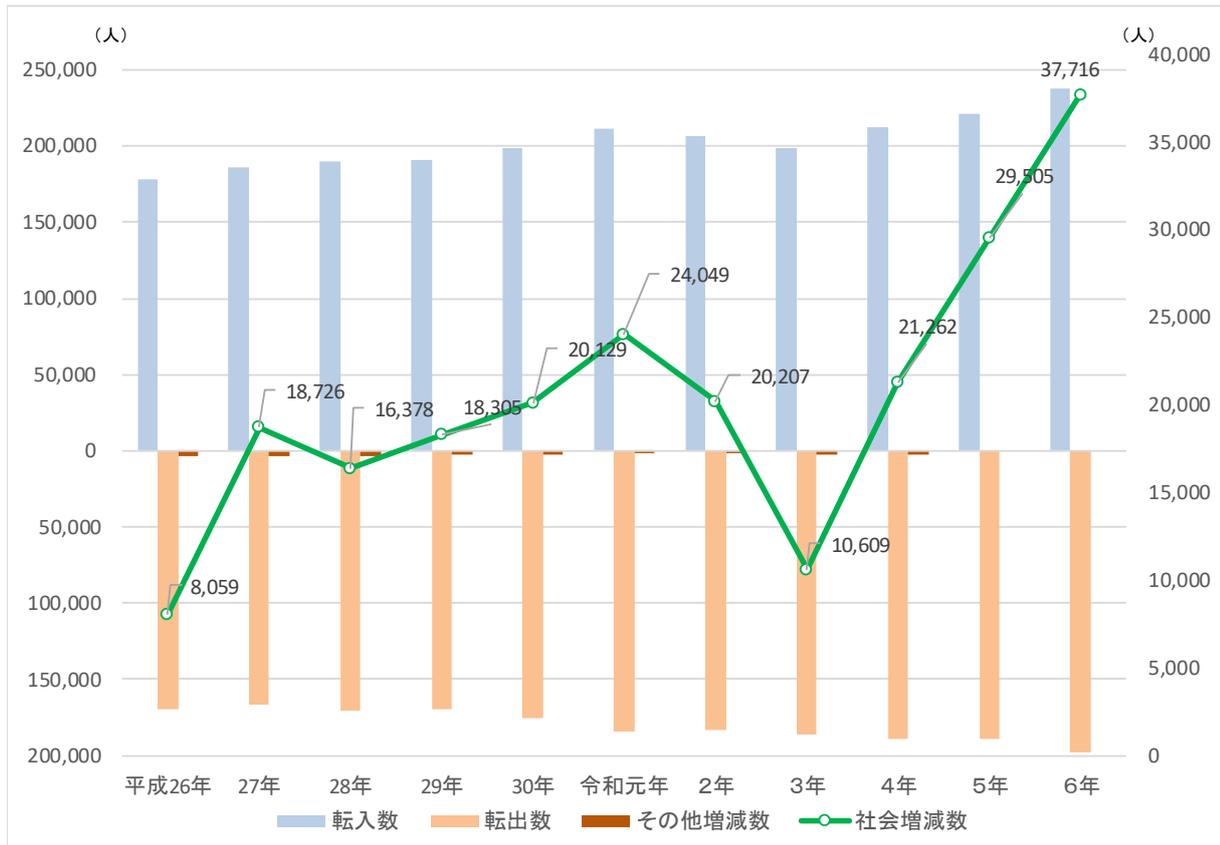


表 6-6 令和6年 行政区別社会動態

行政区名	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)	転入数 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	転出率 (%)	その他増減数 (人)
大阪市	37,716	13.6	237,996	85.9	198,153	71.5	△ 2,127
北区	2,288	15.8	15,844	109.1	13,487	92.9	△ 69
都島区	1,311	12.1	8,443	77.9	7,045	65.0	△ 87
福島区	1,282	15.6	7,556	92.2	6,284	76.7	10
此花区	34	0.5	3,832	59.8	3,700	57.8	△ 98
中央区	2,927	25.7	17,256	151.4	14,086	123.6	△ 243
西区	2,310	20.9	13,861	125.1	11,511	103.9	△ 40
港区	1,268	15.9	6,222	78.1	4,872	61.2	△ 82
大正区	839	14.1	3,677	61.8	2,796	47.0	△ 42
天王寺区	2,026	23.8	8,298	97.3	6,191	72.6	△ 81
浪速区	3,000	36.7	14,914	182.2	11,772	143.8	△ 142
西淀川区	1,152	12.0	7,469	77.9	6,205	64.7	△ 112
淀川区	2,501	13.5	17,602	94.8	14,952	80.5	△ 149
東淀川区	1,435	8.1	13,515	76.7	11,875	67.4	△ 205
東成区	1,836	21.4	8,954	104.3	7,109	82.8	△ 9
生野区	1,708	13.5	11,443	90.3	9,609	75.8	△ 126
旭区	1,547	17.3	6,337	71.0	4,733	53.1	△ 57
城東区	1,425	8.5	10,834	64.7	9,313	55.6	△ 96
鶴見区	72	0.6	5,294	47.5	5,246	47.0	24
阿倍野区	1,148	10.3	8,520	76.4	7,351	65.9	△ 21
住之江区	670	5.7	6,321	54.0	5,608	47.9	△ 43
住吉区	1,458	9.6	10,154	66.8	8,660	56.9	△ 36
東住吉区	2,403	18.8	10,116	79.1	7,645	59.8	△ 68
平野区	488	2.6	10,093	54.0	9,604	51.4	△ 1
西成区	2,588	24.5	11,441	108.2	8,499	80.3	△ 354

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。  
 2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰ (パーミル) である。

表6-7 社会増減率、転入率及び転出率（上位7区）

順位	社会増減率		転入率		転出率	
	行政区名	(%)	行政区名	(%)	行政区名	(%)
1	浪速区	36.7	浪速区	182.2	浪速区	143.8
2	中央区	25.7	中央区	151.4	中央区	123.6
3	西成区	24.5	西区	125.1	西区	103.9
4	天王寺区	23.8	北区	109.1	北区	92.9
5	東成区	21.4	西成区	108.2	東成区	82.8
6	西区	20.9	東成区	104.3	淀川区	80.5
7	東住吉区	18.8	天王寺区	97.3	西成区	80.3

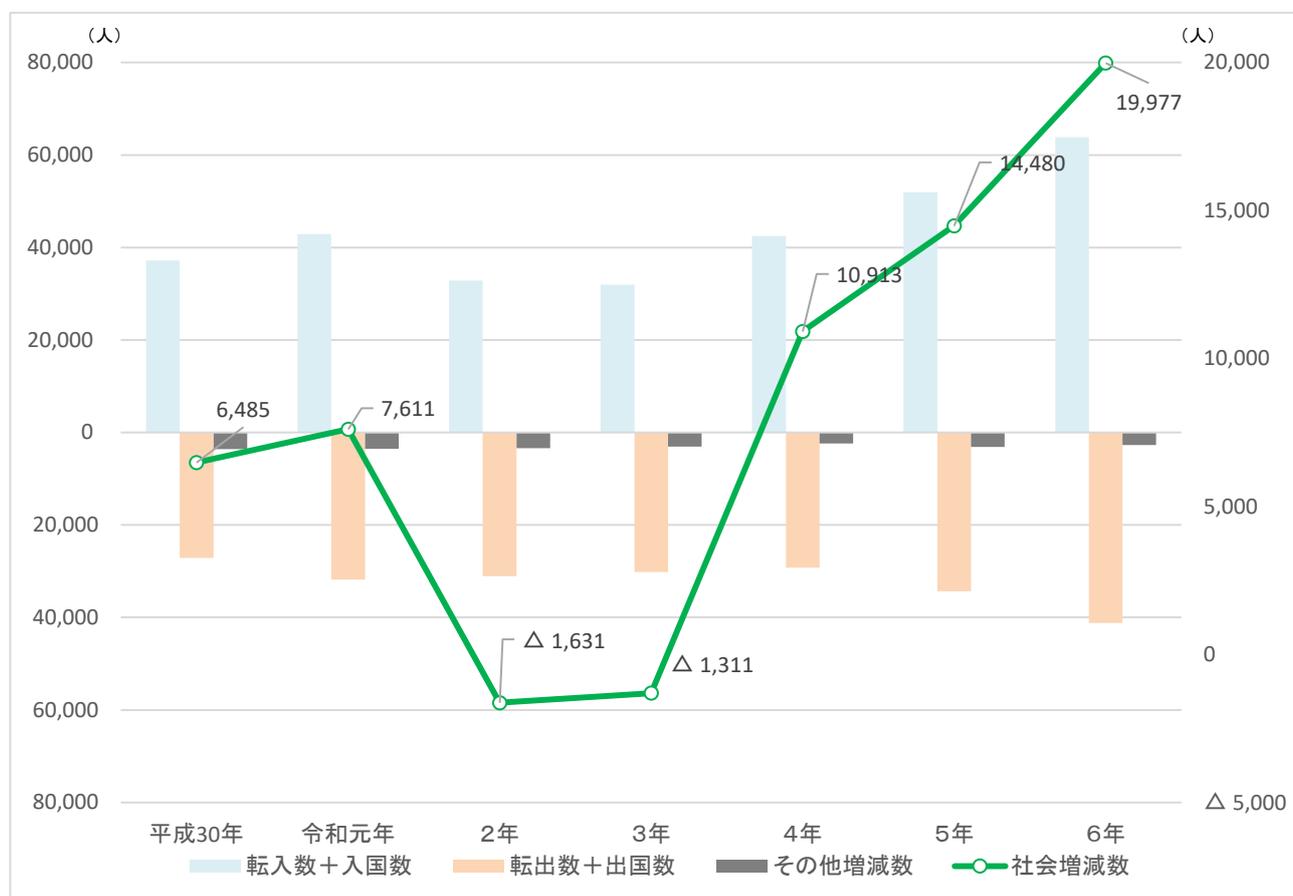
前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-8 社会動態の推移（外国人）

年次	社会増減		転入+入国		転出+出国		その他増減		マイナス変換 転出+出国 (人)
	増減数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	
平成30年	6,485	538	37,208	3,507	27,150	3,634	△ 3,573	665	27,150
令和元年	7,611	1,126	42,917	5,709	31,803	4,653	△ 3,503	70	31,803
2年	△ 1,631	△ 9,242	32,848	△ 10,069	31,087	△ 716	△ 3,392	111	31,087
3年	△ 1,311	320	31,953	△ 895	30,185	△ 902	△ 3,079	313	30,185
4年	10,913	12,224	42,510	10,557	29,249	△ 936	△ 2,348	731	29,249
5年	14,480	3,567	51,928	9,418	34,329	5,080	△ 3,119	△ 771	34,329
<b>6年</b>	<b>19,977</b>	<b>5,497</b>	<b>63,868</b>	<b>11,940</b>	<b>41,203</b>	<b>6,874</b>	<b>△ 2,688</b>	<b>431</b>	41,203

社会増減数、転入+入国数、転出+出国数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

図11 社会動態の推移(外国人)



## 7 年齢別人口

### (1) 年齢(3区分)別人口

令和6年の人口について年齢(3区分)別割合をみると、0～14歳人口(年少人口)は10.0%、15～64歳人口(生産年齢人口)は65.1%、65歳以上人口(老年人口)は24.9%となっており、15～64歳人口の割合が、令和5年(64.6%)と比べて上昇している。

表7-1 年齢(3区分)別人口

年次	人口(人)					割合(%)				
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
令和元年	2,741,336	292,460	1,746,987	701,889	365,870	100.0	10.7	63.7	25.6	13.3
2年	2,752,412	291,039	1,753,884	707,489	376,454	100.0	10.6	63.7	25.7	13.7
3年	2,750,835	288,166	1,757,615	705,054	380,889	100.0	10.5	63.9	25.6	13.8
4年	2,756,807	284,599	1,771,078	701,130	389,729	100.0	10.3	64.2	25.4	14.1
5年	2,770,520	281,936	1,790,223	698,361	399,535	100.0	10.2	64.6	25.2	14.4
<b>6年</b>	<b>2,791,907</b>	<b>279,152</b>	<b>1,816,492</b>	<b>696,263</b>	<b>407,658</b>	<b>100.0</b>	<b>10.0</b>	<b>65.1</b>	<b>24.9</b>	<b>14.6</b>

1 平成30年及び令和元年は令和2年国勢調査結果をもとに修正した各年10月1日の推計人口。

2 令和2年は年齢「不詳」を補完している国勢調査結果。

3 令和3年以降は令和2年国勢調査結果をもとに作成した各年10月1日の推計人口。

### (2) 行政区別の年齢(3区分)別人口

年少人口が最も増加したのは中央区で262人、最も減少したのは平野区で573人となった。生産年齢人口が最も増加したのは浪速区で2809人、最も減少したのは平野区で488人となった。老年人口が最も増加したのは天王寺区で311人、最も減少したのは西成区で803人となった。

表7-2 行政区別の年齢(3区分)別人口

行政区名	(人)				(人)			(人)			
	令和6年 総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	令和5年からの増減数 0～14歳	15～64歳	65歳以上	令和5年 総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
大 阪 市	2,791,907	279,152	1,816,492	696,263	△ 2,784	26,269	△ 2,098	2,770,520	281,936	1,790,223	698,361
北 区	147,556	13,867	107,592	26,097	△ 179	1,906	245	145,226	13,688	105,686	25,852
都 島 区	109,249	11,051	71,174	27,024	△ 153	882	79	108,441	11,204	70,292	26,945
福 島 区	83,255	9,571	58,586	15,099	△ 101	1,371	11	81,975	9,672	57,215	15,088
此 花 区	63,613	6,790	38,997	17,826	△ 189	△ 111	△ 136	64,050	6,979	39,108	17,962
中 央 区	117,165	11,012	89,336	16,818	262	2,779	171	113,954	10,750	86,557	16,647
西 区	113,260	11,973	84,452	16,836	△ 60	2,316	226	110,780	12,033	82,136	16,610
港 区	80,319	7,366	51,140	21,813	△ 183	1,022	△ 177	79,656	7,549	50,118	21,990
大 正 区	59,603	5,585	34,928	19,090	△ 114	464	△ 212	59,465	5,699	34,464	19,302
天 王 寺 区	87,268	11,742	58,534	16,992	253	1,413	311	85,291	11,489	57,121	16,681
浪 速 区	84,573	5,134	65,641	13,798	△ 51	2,809	△ 40	81,855	5,185	62,832	13,838
西 淀 川 区	96,487	9,735	62,136	24,617	△ 219	927	△ 85	95,865	9,954	61,209	24,702
淀 川 区	187,536	17,023	129,207	41,306	△ 357	2,310	△ 127	185,709	17,380	126,897	41,433
東 淀 川 区	176,536	15,474	117,229	43,832	△ 246	749	△ 102	176,134	15,720	116,480	43,934
東 成 区	87,220	8,218	57,842	21,160	△ 26	1,355	20	85,871	8,244	56,487	21,140
生 野 区	127,282	10,885	77,376	39,021	△ 62	855	△ 300	126,789	10,947	76,521	39,321
旭 区	89,992	9,198	54,553	26,241	14	978	△ 200	89,200	9,184	53,575	26,441
城 東 区	167,970	19,031	106,305	42,634	△ 236	950	△ 153	167,409	19,267	105,355	42,787
鶴 見 区	111,266	15,072	70,147	26,047	△ 377	51	59	111,533	15,449	70,096	25,988
阿 倍 野 区	112,159	13,972	69,484	28,703	△ 67	659	2	111,565	14,039	68,825	28,701
住 之 江 区	116,699	11,144	68,133	37,422	△ 334	△ 4	△ 121	117,159	11,478	68,137	37,543
住 吉 区	152,498	15,777	93,598	43,123	△ 154	750	△ 186	152,088	15,931	92,848	43,309
東 住 吉 区	129,058	14,200	77,978	36,880	102	1,271	△ 195	127,880	14,098	76,707	37,075
平 野 区	185,396	18,684	112,161	54,551	△ 573	△ 488	△ 385	186,843	19,257	112,649	54,936
西 成 区	105,947	6,651	59,964	39,333	△ 87	1,056	△ 803	105,782	6,738	58,908	40,136

年齢「不詳」を補完している国勢調査結果をもとに作成した10月1日現在推計人口。

(3) 行政区別の年齢(3区分)別人口の割合

年少人口の割合が最も高いのは鶴見区で13.5%、最も低いのは浪速区で6.1%となった。生産年齢人口の割合が最も高いのは浪速区で77.6%、最も低いのは西成区で56.6%となった。老年人口の割合が最も高いのは西成区で37.1%、最も低いのは中央区で14.4%となった。

表7-3 行政区別の年齢(3区分)別人口割合

行政区名	(%)				(ポイント)			(%)			
	令和6年				令和5年からの増減数			令和5年			
	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上
大阪市	100.0	10.0	65.1	24.9	△ 0.18	0.45	△ 0.27	100.0	10.2	64.6	25.2
北区	100.0	9.4	72.9	17.7	△ 0.03	0.14	△ 0.12	100.0	9.4	72.8	17.8
都島区	100.0	10.1	65.1	24.7	△ 0.22	0.33	△ 0.11	100.0	10.3	64.8	24.8
福島区	100.0	11.5	70.4	18.1	△ 0.30	0.57	△ 0.27	100.0	11.8	69.8	18.4
此花区	100.0	10.7	61.3	28.0	△ 0.22	0.24	△ 0.02	100.0	10.9	61.1	28.0
中央区	100.0	9.4	76.2	14.4	△ 0.03	0.29	△ 0.25	100.0	9.4	76.0	14.6
西区	100.0	10.6	74.6	14.9	△ 0.29	0.42	△ 0.13	100.0	10.9	74.1	15.0
港区	100.0	9.2	63.7	27.2	△ 0.31	0.75	△ 0.45	100.0	9.5	62.9	27.6
大正区	100.0	9.4	58.6	32.0	△ 0.21	0.64	△ 0.43	100.0	9.6	58.0	32.5
天王寺区	100.0	13.5	67.1	19.5	△ 0.02	0.10	△ 0.09	100.0	13.5	67.0	19.6
浪速区	100.0	6.1	77.6	16.3	△ 0.26	0.85	△ 0.59	100.0	6.3	76.8	16.9
西淀川区	100.0	10.1	64.4	25.5	△ 0.29	0.55	△ 0.25	100.0	10.4	63.8	25.8
淀川区	100.0	9.1	68.9	22.0	△ 0.28	0.57	△ 0.29	100.0	9.4	68.3	22.3
東淀川区	100.0	8.8	66.4	24.8	△ 0.16	0.27	△ 0.11	100.0	8.9	66.1	24.9
東成区	100.0	9.4	66.3	24.3	△ 0.18	0.54	△ 0.36	100.0	9.6	65.8	24.6
生野区	100.0	8.6	60.8	30.7	△ 0.08	0.44	△ 0.36	100.0	8.6	60.4	31.0
旭区	100.0	10.2	60.6	29.2	△ 0.08	0.56	△ 0.48	100.0	10.3	60.1	29.6
城東区	100.0	11.3	63.3	25.4	△ 0.18	0.36	△ 0.18	100.0	11.5	62.9	25.6
鶴見区	100.0	13.5	63.0	23.4	△ 0.31	0.20	△ 0.11	100.0	13.9	62.8	23.3
阿倍野区	100.0	12.5	62.0	25.6	△ 0.13	0.26	△ 0.13	100.0	12.6	61.7	25.7
住之江区	100.0	9.5	58.4	32.1	△ 0.25	0.23	0.02	100.0	9.8	58.2	32.0
住吉区	100.0	10.3	61.4	28.3	△ 0.13	0.33	△ 0.20	100.0	10.5	61.0	28.5
東住吉区	100.0	11.0	60.4	28.6	△ 0.02	0.44	△ 0.42	100.0	11.0	60.0	29.0
平野区	100.0	10.1	60.5	29.4	△ 0.23	0.21	0.02	100.0	10.3	60.3	29.4
西成区	100.0	6.3	56.6	37.1	△ 0.09	0.91	△ 0.82	100.0	6.4	55.7	37.9

表7-4 年齢(3区分)別人口割合(上位7区)

順位	0~14歳		15歳~64歳		65歳以上	
	行政区名	割合(%)	行政区名	割合(%)	行政区名	割合(%)
1	鶴見区	13.55	浪速区	77.6	西成区	37.1
2	天王寺区	13.46	中央区	76.2	住之江区	32.1
3	阿倍野区	12.5	西区	74.6	大正区	32.0
4	福島区	11.5	北区	72.9	生野区	30.7
5	城東区	11.3	福島区	70.4	平野区	29.4
6	東住吉区	11.0	淀川区	68.9	旭区	29.2
7	此花区	10.7	天王寺区	67.1	東住吉区	28.6

令和6年10月1日現在の人口に対する割合である。

表7-5 年齢(3区分)別人口割合の変化(上位7区)

順位	0~14歳		15歳~64歳		65歳以上	
	行政区名	変化(ポイント)	行政区名	変化(ポイント)	行政区名	変化(ポイント)
1	天王寺区	△ 0.015	西成区	0.91	鶴見区	0.11
2	東住吉区	△ 0.022	浪速区	0.85	住之江区	0.023
3	北区	△ 0.028	港区	0.75	平野区	0.022
4	中央区	△ 0.035	大正区	0.64	此花区	△ 0.02
5	旭区	△ 0.075	福島区	0.574	天王寺区	△ 0.09
6	生野区	△ 0.082	淀川区	0.566	都島区	△ 0.111
7	西成区	△ 0.09	旭区	0.56	東淀川区	△ 0.115

令和5年10月1日現在の人口割合に対する令和6年10月1日現在における人口割合の変化である。

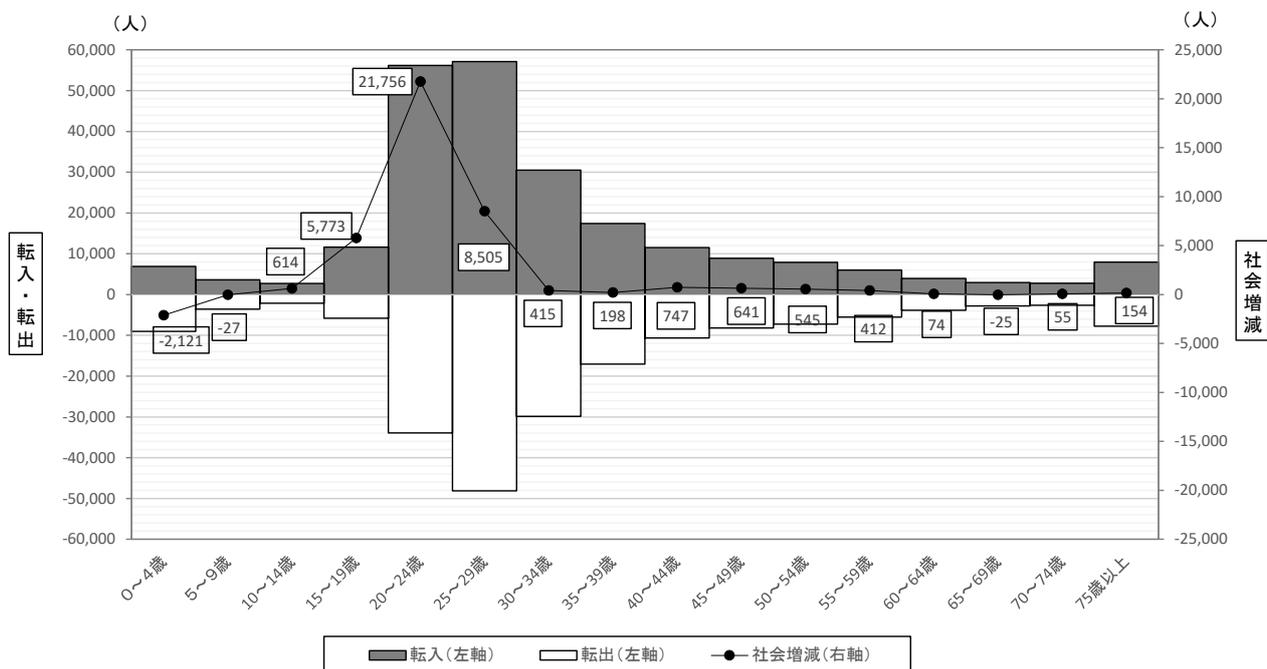
#### (4) 年齢(5歳階級)別社会動態

令和6年の社会増減を年齢(5歳階級)別にみると、15歳から29歳までの各階級で大きく増加しており、特に「20～24歳」では2万1756人の増加となった。また、0歳から9歳までの子ども層は減少しており、特に「0～4歳」の減少数は2121人と、他の年齢階級と比べて、減少幅が大きくなっている。

表7-6 年齢(5歳階級)別転入、転出、その他増減及び社会増減数

		(人)									
	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳		
転入	237,996	6,919	3,604	2,724	11,610	56,167	57,136	30,527	17,419		
転出	△ 198,153	9,009	3,599	2,099	5,805	33,915	48,154	29,849	17,075		
その他増減	△ 2,127	△ 31	△ 32	△ 11	△ 32	△ 496	△ 477	△ 263	△ 146		
社会増減	37,716	△ 2,121	△ 27	614	5,773	21,756	8,505	415	198		
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	(再掲)15～29歳		
転入	11,526	8,872	7,880	5,997	3,962	2,915	2,783	7,955	124,913		
転出	10,672	8,177	7,251	5,530	3,837	2,816	2,633	7,732	△ 87,874		
その他増減	△ 107	△ 54	△ 84	△ 55	△ 51	△ 124	△ 95	△ 69	△ 1,005		
社会増減	747	641	545	412	74	△ 25	55	154	36,034		

図12 年齢(5歳階級)別社会動態



(5) 行政区別の年齢(5歳階級)別社会動態

行政区別の年齢(5歳階級)別社会増減は次表のとおりである。大阪市全体の社会増減を年齢(5歳階級)別にみた場合に特に増加が多い「20～24歳」の増加数を行政区別にみると、淀川区が2538人と最も多く、次いで浪速区が2310人、西区が1842人と続いている。また、大阪市全体では減少となっている「0～4歳」及び「5～9歳」の両階級について、行政区別にみると、大正区、天王寺区、阿倍野区、東住吉区の4区で転入超過となっている。

表7-7 行政区別の年齢(5歳階級)別社会増減数

行政区名	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
大阪市	37,716	△ 2,121	△ 27	614	5,773	21,756	8,505	415	198
北区	2,288	△ 349	42	23	298	1,752	807	△ 133	△ 61
都島区	1,311	△ 63	△ 13	25	160	941	321	44	△ 19
福島区	1,282	△ 184	△ 27	20	109	954	468	15	△ 19
此花区	34	△ 18	△ 31	12	132	66	68	△ 16	△ 21
中央区	2,927	△ 255	24	82	355	1,693	887	7	30
西区	2,310	△ 156	△ 61	6	291	1,842	529	△ 18	△ 34
港区	1,268	△ 32	△ 12	8	167	758	354	42	70
大正区	839	16	8	5	60	367	189	72	49
天王寺区	2,026	82	134	123	173	428	244	120	191
浪速区	3,000	△ 194	△ 76	0	554	2,310	739	△ 107	△ 178
西淀川区	1,152	△ 72	△ 27	3	164	801	240	6	△ 6
淀川区	2,501	△ 356	△ 40	△ 11	404	2,538	653	△ 114	△ 142
東淀川区	1,435	△ 225	△ 48	9	518	1,192	147	△ 240	△ 191
東成区	1,836	△ 12	△ 5	11	240	1,015	341	9	△ 15
生野区	1,708	△ 83	△ 20	56	488	997	154	△ 58	42
旭区	1,547	45	0	14	114	430	447	154	77
城東区	1,425	△ 66	27	56	165	724	495	86	54
鶴見区	72	△ 53	△ 37	△ 20	△ 55	84	207	73	△ 3
阿倍野区	1,148	27	63	82	225	312	134	91	133
住之江区	670	△ 30	△ 11	22	136	267	182	37	△ 41
住吉区	1,458	△ 28	19	14	238	492	298	126	87
東住吉区	2,403	8	111	68	242	572	368	216	207
平野区	488	△ 80	△ 52	△ 9	148	169	110	△ 40	△ 75
西成区	2,588	△ 43	5	15	447	1,052	123	43	63
行政区名	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	(再掲)15～29歳
大阪市	747	641	545	412	74	△ 25	55	154	36,034
北区	40	1	32	△ 59	△ 5	△ 6	△ 23	△ 71	2,857
都島区	0	5	△ 18	△ 24	△ 17	△ 27	8	△ 12	1,422
福島区	△ 12	37	8	13	△ 6	△ 13	△ 22	△ 59	1,531
此花区	△ 42	△ 3	△ 17	9	9	△ 23	△ 30	△ 61	266
中央区	126	97	57	14	△ 44	△ 67	△ 31	△ 48	2,935
西区	△ 63	△ 32	26	13	3	3	△ 9	△ 30	2,662
港区	△ 10	5	12	34	△ 27	△ 14	△ 12	△ 75	1,279
大正区	28	26	34	△ 17	1	△ 8	13	△ 4	616
天王寺区	165	127	65	65	41	29	21	18	845
浪速区	△ 21	△ 27	△ 27	26	△ 8	△ 6	10	5	3,603
西淀川区	34	28	△ 22	△ 7	5	△ 36	11	30	1,205
淀川区	23	4	△ 37	△ 74	△ 68	△ 47	△ 56	△ 176	3,595
東淀川区	△ 34	58	93	48	23	17	25	43	1,857
東成区	17	61	19	51	25	23	2	54	1,596
生野区	△ 2	△ 22	32	61	△ 15	△ 11	△ 6	95	1,639
旭区	74	36	30	60	16	18	9	23	991
城東区	29	41	△ 1	△ 35	△ 39	△ 29	△ 25	△ 57	1,384
鶴見区	△ 58	△ 54	△ 13	△ 54	4	15	7	29	236
阿倍野区	64	44	55	14	△ 5	△ 11	△ 12	△ 68	671
住之江区	41	9	20	18	△ 1	1	△ 3	23	585
住吉区	87	55	42	12	32	5	36	△ 57	1,028
東住吉区	147	54	62	52	32	39	18	207	1,182
平野区	46	14	△ 40	55	△ 16	55	46	157	427
西成区	68	77	133	137	134	68	78	188	1,622